

葛歯発第 119 号  
令和元年 12 月 8 日



会員各位

公益社団法人 葛飾区歯科医師会  
会長 勝俣 文良

## 学術講演会のお知らせ 記

日時：令和2年1月22日（水）午後7時30分

場所：葛飾区歯科医師会館

演題：「シンプルな充填で行う自然感のある前歯部ダイレクトボンディング」

講師：台東区開業医 大谷一紀先生

### 【抄録】

現代のコンポジットレジン修復（以下、CR 修復）には2つの役割があると考えられる。まずは、MI の概念に則ったカリオロジー的側面における役割があげられる。FDI が提唱する MI の概念の要旨は、①う蝕に対する再石灰化、②う蝕病原性細菌の管理・予防、③歯質保存的な接着修復の優先である。そのなかで、CR 修復は③における不可逆的なう蝕に対する第一の処置であり、これによって(1)健全歯質の可及的な保存が可能であり、(2)歯髄への刺激を軽減できることなどから、結果として「歯の延命」が可能になると考えている。

次に、審美・機能性回復の役割がある。コンポジットレジンの性能が進化した現在では、CR 修復であっても複数のシェードを積層し、明度をコントロールすることで高い審美性の回復を図ることが可能となっており、保険診療だけでなく自費診療で行うこともある。

本講演では、充填テクニックを中心に、自然感のあるダイレクトボンディングを成功させるための臨床術式および自費診療で行うダイレクトボンディングの導入についてお話したい。

### 【略歴】

1997年 日本大学歯学部卒業

1997年 日本大学歯学部補綴学教室第Ⅲ講座

2012年 大谷歯科クリニック院長

歯学博士

日本補綴歯科学会専門医

日本顎咬合学会認定医

日本歯科理工学会会員

講演会に出席される先生は **ICカード** をご持参ください。